

議会だより

町民一人あたりこのように使われました
平成22年度一般会計決算 3

■ 9月定例会町長行政報告 & 議案審査 4~8

■ 一般質問（滝口新一朗議員） 9

・一般行政事務の停滞について、今後の対応は

■ 地域で活躍する団体を訪ねて **西桂町愛育会** 13



西桂保育所 年長児による農業収穫体験

効率的・効果的な 行財政運営を！！

監査委員から、一般会計歳入は、対前年比5.23%と減収となっており、これは、地方税、国庫支出金、町債等の減収によるもので、自主財源である町税は、景気低迷等による個人所得の低下に伴う町民税の減収によるものである。

町税全体では前年度に比較して、率にして9.53%の減収、歳入合計における自主財源比率は、歳入全体の減収から30.

各種補助金を活用し 事業展開を図る

一般会計賛成討論

佐藤 勝男 議員



8%と、前年度より2.2ポイント上昇している。今後、自主財源を中心とする歳入の強化を図る一方で、事業の見直し等を行う中で歳出面の抑制も図っていく必要があると指摘。

歳出は、地域活性化・経済危機対策臨時交付金、地域活性化補助金等を受け実施した、保育所改修工事、いきいき健康福祉センター改修工事、町道改良工事、町営入田団地下水道接続工事、全国瞬時警報システム導入、公用自動車購入など、町の財政負担等に配慮し積極的に実施されたことは評価できる。

さらには、健全化判断比率等の財政運営の健全化を示す指標も、困難な社会状況にありながら、昨年に引き続き、安定した数値を維持しており、健全な財政運営の結果と思われる。

今後、町民の福祉の向上のため、限られた予算の中で職員一丸となつ

て、適格・適正な財政運営に努めていただくことを要望する。

滞納者に対し、積極的な 納税指導等を

監査委員報告

渡邊 隆 監査委員



率的・効果的な行財政運営を進め、町民福祉の増進と、本町のめざす将来像を実現するため、各種施策の推進にたゆまぬ努力を傾注されるよう望む

主な監査意見

一般会計

歳入は、前年度に比較すると約1億2千4百万円(5.23%)の減収となっている。これは、地方税、国庫支出金、町債等の減収によるもので、自主財源である町税収入は、景気低迷等による個人所得の減少、町税全体では前年度に比較して約4千4百万円(9.53%)の減収となっている。また、町税に係る不納欠損処分は、適正に処理されているものと認められるが、税の公平負担を期するうえから、不納欠損処分に至るまでに徹底した調査、管理、督促を行い、処分に当たっては今後も厳正に対処されるよう強く要望する。

歳出は、地域活性化・経済危機対策臨時交付金

特別会計

国民健康保険特別会計を中心に収入未済額が、依然として増加となっているため、引き続き滞納者に対する積極的な納税指導や実態調査を行うなど滞納整理に取り組むよう願う。

まとめ

本町の健全化判断比率及び資金不足比率については、国で示す早期健全化基準を下回り、健全な財政運営が行われている。しかし、特別会計への多額の繰り出しや実質公債費比率の上昇等、懸念される材料もいくつか確認できるため、これら健全化の指標も念頭に、特別会計等の財務状況にも注意を払い、町全体として財政の健全化に努められたい。

各種補助で町の支出を抑え 保育所改修工事が完成

保育所改修事業費で2億3千万円

国補助金 9,568 万円 県補助金 5,105 万円 その他補助金 648 万円 一般会計 7,679 万円

物件費

8万5,672円
(4億0,549万円)



一般事務経費、臨時職員賃金、業務委託費等

その他

8万1,787円
(3億8,710万円)

繰出金、維持補修費、
積立金、出資金等

人件費

7万8,097円
(3億6,963万円)



主に常勤の職員の給与
町長、議員及び
各種委員等の報酬

町民一人あたり
このように
使われました

平成22年度
一般会計決算

総額
46万2,284円
(21億8,799万円)



公債費

3万9,702円
(1億8,791万円)



毎年度、償還すべき町債
(借金)の元金、利息

投資的経費

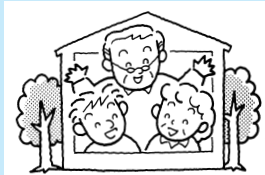
7万8,527円
(3億7,167万円)

建物の建設、
道水路整備、
大型備品の購入



扶助費

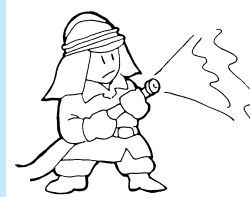
4万0,951円
(1億9,382万円)



施設措置費、各種福祉手当
医療費手当等

補助費等

5万7,548円
(2億7,237万円)



他市町村との広域業務
負担、各種団体への
補助等

() 内は平成22年度決算額です。

■基金(貯金) 残高 32万4,457円
〔15億3,565万円〕

■地方債(借金) 残高 77万2,233円
〔36億5,498万円〕

※左記の額は一般会計のものです。

※〔 〕内はH23年3月末現在人口4,733人
当たり額

※地方債(借金)残高には、交付税算入基礎額として
後年度に国が負担してくれる額が含まれているため、
全てが借金とはなりません。

税金は口座振替やコンビニ収納を活用し、収納率の向上に努力

決算認定

9月定例会

9月定例会は平成23年9月9日に招集され、同日に本会議、この後会期中に連合審査会、委員会所管事務調査、本会議が開催され、14日間の会期をもって、22日に閉会いたしました。町執行部より条例1件、補正予算4件、決算8件、同意4件が提案され、全ての議案が原案のとおり可決・認定・同意されました。

平成22年度一般会計決算

主な委員質疑・歳入

問 町税の不納欠損額については、昨年750万円ありましたが、今年は398万円と担当課で努力をされていることは充分承知しておりますが、税の公平性の観点から更に努力をしていただきたい。

収入未済額も3169万円と若干増えている傾向にあるので、状況を勘案しながら、更に納税率アップに対して努力していただきたいと思います。特に納税組合が平成22年度で補助金が終了となりますので、その状況を勘案しながら今後納税の意

識を高めていただき、当然、口座振替やコンビニ収納も力を入れておられると思いますが、更なる納税率アップの対応について説明願います。

税務住民課長

平成22年度は県下27市町村中10番目の徴収率でした。納税組合が22年4月1日現在26組合316世帯でありましたが、今年の8月1日現在で6組合77世帯です。組合の減により収納率の減に繋がらないように努力していきたいと思っております。

意見

口座振替の奨励を進めていただき、コンビニ収納を活用しながら収

主な委員質疑・歳出

納率の向上に努力していただきたい。との意見が出されております。また、保育料及び町営住宅家賃等の不納欠損及び収入未済額についても、努力していただき不公平にならないように努めていただきたい。

問 保育所の全面改修事業について、22年度で概ね事業が完了しておりますので、その支出に関する詳細についてお答えいただきたい。特に地域エネルギー等導入促進対策費補助金648万円につ

いては、保育所の太陽光発電等にかかる費用であることは、理解してありますが一般財源と国県等の補助金などの程度かかったのかの内訳を教えてください。

福祉保健課長

国補助金9千568万円県補助金5千105万円その他補助金として、地域エネルギー等導入促進対策費補助金648万円、一般会

平成22年度の8会計決算額 全員認定

会計名	歳入総額	歳出総額	平成23年度へ繰り越す財源	実質収支額 (実際残る金額)
一般会計	22億6千034万円	21億8千799万円	898万円	6千336万円
国民健康保険特別会計	4億6千884万円	4億6千193万円	0円	691万円
老人保健法特別会計	726万円	726万円	0円	0円
後期高齢者医療特別会計	6千790万円	6千789万円	0円	1万円
介護保険特別会計	2億5千677万円	2億5千070万円	0円	606万円
介護予防支援事業特別会計	67万円	64万円	0円	2万円
簡易水道特別会計	8千407万円	7千963万円	0円	443万円
下水道特別会計	1億7千995万円	1億7千810万円	0円	185万円
合計	33億2千583万円	32億3千417万円	898万円	8千267万円

(千円以下は切り捨てました。)

計から基金取り崩しを含めて7千679万円支出されており総額2億3千519万円となっております。

意見

多くの補助金を頂き一般会計からの支出を最小限にした事業について、町の努力が評価できます。

特別養護施設への 入所に努力を！！

決算認定

平成22年度特別会計決算

国民健康保険

問 国民健康保険の広域化にかかる県の支援方針などの情報について、現在の状況は。

税務住民課長

当初県では平成25年度には広域化を推進する予定でしたが、各市町村の税率の問題、収納率の問題や国における高期高齢者医療制度の設立問題等により、平成30年に向けて検討している状況です。

意見

県では昨年度、支援方針を作成して行くとの話がありましたが、遅れている状況ですので、新しい流れがあれば的確に把握していただき、報告をしていただきたい。

介護保険

問 不納欠損及び収入未済額の実態については。

福祉保健課長

普通徴収にかかる収入未済です、年金から引けない小額受

給者10人によるもので、215万円です。内、滞納

繰り越しとして15万円であり、向う4年に渡って7人。不納欠損6万円は2名であり、死亡及び行先不明による不納欠損処分を行った。

意見

一般の方々にご理解していただけるように、徴収に向けて尚一層の努力をお願いする。

問

介護施設への出現率及び入所待ちの状況は。

福祉保健課長

出現率について、21年度末では、65歳以上の方が1,065人の内、要介護認定を受けた方が122人で出現率は11.46%の状況です。23年3月末では65歳以上の方が1,055人の内、要介護認定を受けた方が137人で出現率は12.99%となりました。特別養護老人ホームの待機者は、4月1日現在で32人の方が入所待ちであり、特に大変な要介護度4・

5の方が6名おり、自宅で介護をしている状況です。

意見

県下の平均より下回っていますが、介護の大変な要介護度4・5の方6名が一日も早く入所出来る様に議会も協力するので、尚一層の努力をお願いしたい。

簡易水道

問

地方債の運営方法、入札の状況など、独立会計として、独立採算制の中で、水道料金の値上げにより使用料も順調に推移しておりますが、地方債の返済計画など、今後の展望計画についてのシミュレーションを示していただきたい。

建設水道課長

議員の皆様には後日、シミュレーションを作成して提示します。

下水道

問

簡易水道と同様にシミュレーションを示していただきたい。

建設水道課長 議員の皆様には後日シミュレーションを作成して提示します。



寿学級の風景

石田町長からの報告

放射能汚染の防止対策に万全を!!

学校教育の推進

8月18日～22日までの5日間、中学生5人を含む、総勢10人で、中国、桂林市、靈川県を訪問し、靈川県第二中学校の生徒との交流会や中学生宅の訪問などの際には、中学生同士の活発な交流が行われました。町と靈川県とは、友好都市締結後5年になり締結最終年を迎えておりますが、国際的な視野に立って活躍する人材の育成を図る事のできる重要な事業ですので、今後も継続していきます。また、8月2日～5日まで環太平洋学生キャンプホームステイ等の交流事業を、実行委員会を中心に実施しました。

保健・医療の充実

救急医療体制の充実強化を図るためドクターヘリの離発着場を町民グラ

ンド・西桂小学校グラウンド・西桂中学校グラウンドの3か所に設置しました。

高齢者・障害者福祉の充実

今年度は第5期介護保険事業計画書を作成し、計画策定懇話会を開催し、保険料を含んだ3カ年の計画書を決定します。

道路交通網・公共交通体系の確立

町内橋梁の長寿命化は、計画を策定した後に、審議会を発足し内容の検討を行い、計画的に補修、補強等を実施します。

去る3月1日に認可された「富士吉田北部スマートインターチェンジ」は、年内に詳細設計に入り、県道富士吉田西桂線の整備と一体的に整備を図っていきます。

緑と水に親しむ空間の形成

今年度も山梨県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業の補助金を活用し、クマガイ草群生地地の整備や、倉見山散策路の保全管理を行い休憩所等の整備を実施します。

環境保全・循環型社会の構築

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射線の影響について、県内全市町村の調査が行われ、当町では西桂小学校校庭及び西桂保育所園庭が測定され、1時間当たりの放射線量は小学校が0.077マイクロシーベルト、保育所が0.058マイクロシーベルトで、この数値は国等が示す安全基準内であり、即日県

水道・下水道事業の推進

水道水も本年3月と6月の2回の検査を実施し、放射性物質は不検出となつています。今後は、3カ月に一度、定期的に放射能検査を実施します。

農林業の振興

西桂町教育ファーム事業として、幼少期の野菜嫌いの解消や基本的な経済の仕組みを教えるため、西桂保育所年長児を対象に、三ツ峠生産者組合による農業体験や保育所において子供たちによる夕市を実施しました。また、児

童館アグリキッズ事業として、西桂町児童館ひよこ学級の3歳未満を持つ親子を対象に農業体験を行い、野菜の栽培の仕方や食の安全について学習しました。

また、遊休農地解消事業は、今年も県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業の補助金を受けて実施しており、地図及び現地調査、遊休農地の所有者に対し来年以降の耕作状況について意向を確認し、来年以降に耕作する土地90筆63,171㎡について草刈・拔根・耕運・景觀作物等の種蒔作業を実施します。

この事業により、農地を利用してシニア層の余暇活動や都市部住民による農業振興策を展開させ、農地の有効利用を図ります。

西桂町長の公職選挙法違反嫌疑究明 のための調査特別委員会を設置

委員の意見

- ① 行政運営にも直接かわるので、贈り先については公表していただきたい
- ② 贈り先は、31名にも及んでおり選挙との関係についての可否を問う
- ③ 石田町長本人名義でウナギのかば焼きセットを贈っているが、奥さんが独自に贈ったことに対する確認を求める
- ④ 司直の事情聴取の内容を公表して欲しい
- ⑤ 公職選挙法違反を知らなかった責任を取り、再度、町民の信を問うてもらいたい
- ⑥ 一連の報道に対する信憑性を確認する
- ⑦ 一連の騒動に対して近隣市町村の信頼について、どの様に考えているのか

など意見が出されました

西桂町長の公職選挙法違反嫌疑
究明のための調査特別委員会が
設置されました

委員長に滝口新一朗議員副委員長に瀧口
幸男議員が選任されました。

調査活動日時は平成23年9月9日及び9
月16日並びに10月28日の3日間です。9月
の2回については、以下の通りです。

調査結果

この調査特別委員会の設置については、本町の行政事務の根幹となる事務調査であり司直の捜査の進展を見極めながら所期の目的達成のため、一日も早く真相を明らかにして、町の行政事務を正常に戻し、調整発展させて行くことを目的として設置され、多くのご意見をお聞きしてきました。

今後、司直の判断がなされた時点で町長の見解を明らかにすることなどが話されました。

次に10月28日開催の委員会調査は以下のとおりです。

主な質問

9月16日の調査特別委員会でも町長より、7月28日に新聞社2社テレビ局1社で報道放映された前町長の発言で「西桂ウナギ宅配石田町長関与を認める発言」に対しての質問で、町長は事実ではありませんが、事実でなかったら報道機関を告訴なり偽証罪で訴えるべきとの質問に対し、町長はそのつもりでおりますと答弁としていますが、その後告訴なり偽証罪の訴えを行ったのか問う。

町長 行っていない、弁護士と相談中です。

委員会意見

① 町長より「町民の負託を受けたものとして今後とも職務を全うしたい」については選挙後に発覚した事件のため、道

義的責任を取って辞職すべきである

② 金額にして6,000円相当の品物を31名に及ぶ方々へ妻一人の判断で贈ったとは一般的に考えておかしい

③ 奥さんが議会の解散を匂わす発言をしたことなどから、町長がまったく知らなかったものとは言い難い

調査結果

① 委員より、町長が発言した「送り先は家族ぐるみのお付き合いをしている友人、妻、私の友人であること。」については、議会として承認できない事を賛成多数で確認した。

② ウナギの宅配問題について、司直の判断とは別に、町長が発言した「自分は一切関与していない、妻が独自の判断で送った」事に対しては、議会の総意として到底容認できない事を、賛成多数で確認した。

9月定例・補正予算

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	2 千 6 2 2 万円	1 9 億 2 千 2 8 2 万円
国民健康保険特別会計	4 万円	4 億 4 千 1 7 4 万円
介護保険特別会計	9 6 万円	2 億 5 千 2 0 5 万円
簡易水道特別会計	6 万円	6 千 9 6 万円

補正予算の主な内容

一 般 会 計 補 正 予 算(第4号)	○町制60周年記念誌作成委託費 7 8 万円 ○要支援者の情報ネットワーク整備経費 8 9 9 万円 ○ランランランドへの遊具の設置工事費 4 3 0 万円 ○景観計画策定委託 3 8 1 万円 ○消防費は東日本大震災で犠牲になった消防団員の公務災害補償負担金 2 6 0 万円 ○都市計画マスタープランの策定 1 2 3 万円 ○給食室食堂の修繕経費 5 0 万円 ○中学校費の体育文化振興補助金 5 0 万円
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○前年度出産育児一時金国庫補助金の返還金 4 万円
介護保険特別会計補正予算(第1号)	○国庫支出金等返還金の追加 9 9 万円 ○包括的支援事業費 △ 2 万円
簡易水道特別会計補正予算(第1号)	○水道水の放射能検査委託料 6 万円

補正予算(歳入)の主な内容

一般会計	県補助金 1 千 2 2 9 万円	繰越金 1 千 3 9 2 万円
国民健康保険特別会計	繰越金 4 万円	
介護保険特別会計	繰越金 9 6 万円	
簡易水道特別会計	繰越金 6 万円	



小林千尋 教育委員長



川村重樹 教育長

監査委員の選任に同意
(全員同意)
教育委員会委員の選任に同意
(全員同意)



鹿糠光子 教育委員



相沢新七 教育委員長職代理者



安富英彦 代表監査委員

一日も早く 真相を明らかに



滝口新一朗 議員

問

町民への理解はどの様に！

答

回覧版その他で説明

問

町の自主財源の根幹となります町税は年々落ち込みを余儀なくされており、大変厳しい状況にある今、一連の騒動による町行政の停滞は多くの町民が大変心配していることであります。

一日も早く真相を明らかにして一連の騒動を収束し、町行政事務を正常に戻し、調整発展へとつなげていかなければなりません。どのように真相を明らかにし今後の行政事務を、どのような方向に進めて行くお考えか伺います。また、調査特別委員会等により、捜査中とのことで、警察の聴取があ

つてから、今後は支持者も含めていろんな場所でお話していきたいと話されておりますが、どの様に町民の方々へ理解していただくのか伺います。

町長

私の家族が町内の有権者の方々にお中元を送った件に関しまして、町民の皆様方には大変お騒がせすることになってしまい、衷心より深くお詫び申し上げます。この件については妻が独自の判断で送ったこと、私は全く知らなかったこと、送り先は家族ぐるみのお付き合いをしている友人、妻、私の友人である

ことなどです。妻も私も公職選挙法で政治家のお中元が違法であることを認識しておらず、このような事態になり深く反省しております。その上で、町民の負託を受けたものとして今後も職務を全うしたいと考えておりますが、警察の捜査が現在も行われており、捜査に影響を与えかねないため公の場では明らかにできないこともございますが、捜査にはありのままをお話しております。今後、司直の判断がなされた時点で私の見解を明らかにする所存であります。町の行政事務にも真剣に

取り組んでおり、大きな

予算を伴う事業、調査等が必要なものは私の公約と第5次長期総合計画及び主要事業計画とを擦り合わせる中で今暫く時間をいただき、来年度予算の中で対応したいと考えており、決して町行政が停滞しているとは思っておりませんので今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。

再質問

司直の判断がなされた時点で、速やかに議会及び町民への説明を頂きます様、重ねてお願い申し上げます。その見通し等につきまして、

ご所見を伺います。

町長

警察の捜査にはありのままに真実を話し協力しています。捜査当局の判断が何時どの様になされるか現時点では、はつきりと判りません。しかし、司直の判断がなされたら、出来るだけ速やかに、私の方から説明したいと思っております。議会及び町民の皆様には回覧版その他でご説明したいと思っております。

国会議員による災害現地視察

台風12号の被害状況と 堰堤工事の要望

去る9月1日の台風12号に伴う大雨により、倉見区12隣保の町民グラウンド下の住民40世帯に対して、町より避難勧告命令が発令され、一部の住民の方々がYLO会館へ避難しました。

町においては8月31日から9月4日にかけて577ミリの総雨量を記録し、一部がけ崩れなどが発生しましたが幸い大きな被害もなく、ご尽力いただいた各区の区長や区民の皆様、消防団の方々には感謝いたします。

このことを受けて9月30日には町長が国会の衆・参議院会館を訪問し、衆議院議員の坂口岳洋氏らに砂防堰堤工事を実施していただきたい旨の陳情を行いました。

更に、町議会からも現地視察を強力に要請した

ところ、日程その他の調整を重ねた結果、10月13日に衆議院議員坂口岳洋氏が来町され現地視察を行いました。

当日は、倉見区長さんを始め倉見区の農業委員さんや倉見12隣保の方々にも現地案内をして頂き航空写真や現地図面などによる説明を行いました。

町長は公務にて不在の中、議会では正副議長を始め総務常任委員及び建設文教常任委員が町職員と共に出席し、人命尊重及び家屋の損壊等の未然防止の観点から、早急に砂防堰堤工事を実施して下さるよう要望書を坂口議員へ手渡しました。

町議会では、今後も町と共に地域防災力の強化に努め、防災対策の充実に図って行きます。



倉見町民グラウンド危険箇所現地視察





一般質問のその後

あの質問はどうなったずら

平成22年3月定例会

質問

三ツ峠登山道整備は

多くの事業費のかかる工事については、直接県で行うか、同時に委託金の増額や補助金等、県に要望し、県と共に三ツ峠の登山道整備を進めていくのが、これからの課題ではないか。

答弁

22年度に県の補助を 頂き対応

三ツ峠については、現在だるま石手前までの町有地を含む登山道の整備を完了していますが、だるま石から山頂にかけては富士箱根伊豆国立公園に指定されている上、県有地のため、町による登山道整備はできずに苦慮しています。

このため県に登山道や景観の整備などの要望を行って結果、平成22年度に800万円の100%補助をいただく中で、県観光資源課と連携を図りながら、雇用の創出と安全で安心、楽しく登れる登山道整備に向け取り組んでいきたいと考えております。

現状

きれいに整備されました

三ツ峠の登山道整備は、県から緊急雇用創出事業による補助金800万円をいただき離職した非正規労働者、中高年齢者等を5人雇用し、草刈等による登山道整備を図りました。

師付近から屏風岩にかけての箇所では、草により狭くなっている登山道の草刈を行いました。⑥降雨の流下により洗掘を起こしている箇所については、排水箇所を設けました。⑦降雨の流下により洗掘を起こし埋没されている階段についての復元を行いました。これらにより見違えるほど綺麗な登山道整備が図れました。

主な整備として①登山道入口から山頂にかけて傾斜地のきつい場所に登山者の転倒防止及び安全確保のための風倒木等を利用した階段を設置しました。②崩落していた八十八師付近の石仏の復元を行いました。③風倒木や転石などによる登山に妨げとなる障害物を除去しました。④八十八師付近から屏風岩にかけての崩落箇所など危険な場所には、落下防止のために鉄柱杭とロープを設置しました。⑤八十八大



依田石材さんのボランティアによって修復された八十八大師

みんなの声

みんなの声

①. 議会に因する内容が詳しく
載っており、議会を理解する
かできる。(ポイントを入れよう)

② p.15の俳句部の村海先生の言葉
の中に「立派な句が読まれたと
おめでた。その場に句碑が立てば……」と
の言葉があり、正にその通りだ
と感じた。検討してみたいか
が(どうか)。

議会の構成が決り議会だよりも
内容が充実しており
嬉しい。ご活躍を期待します。

西桂町議会では、議会
だよりを通じて町議会や
町に望むこと、議会だよ
りを読んだ感想などを募
集しています。
皆さんの貴重なご意
見・ご感想などを今後の
議会活動に反映させてま
いりますので、積極的なご
参加をお願いいたします。

新町長 議員も迎えた
新しい町が発行広報の周知が
十分なとおく感じることはありません
でした。これ程まで広報(広報)を愛し
ていただくと自分もみつけなおした。
西桂町でもほうほうデモントバスの実施
について考えてみたらどうでしょう。セリ
ック医薬品は当所と医療院で受け付けて

プレゼントクイズ

クイズ正解者のうち抽選で10名の方に、
町の特産品をプレゼントします。

問題：22年度一般会計決算の内、町民
一人あたり人件費は年間いくら
掛かりましたか？

答え ① 78,097円
② 78,527円
③ 81,787円



応募方法：①～③の答えの数字と住所、氏名、
電話番号、議会だよりを読んだご意見で感想を書
いて、はがき、FAX、E-Mailにてご応募ください。

締切は12月10日(当日消印有効)です。当選者
の発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒403-0022 西桂町小沼1501-1

西桂町議会広報編集委員会

TEL 0555-25-2121 FAX 0555-20-2015

E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

写真募集中 採用された方には記念品を贈呈

まずは町議会議員のご就任誠におめ
でとうございます。

表紙を飾る新議員皆様の、晴れやかな
お顔に相応しい「議会だより」をお届
けいただき、本当にうれしく思ってお
ります。「議会だより」は議員皆様の
「通信簿」でもありますので毎回ジッ
クリと拝読させていただきます。

議員皆様も、自身の健康に十分留意さ
れ、四年間の任務を全うされます様、
応援させていただきます。

次回を楽しみにしております。



訪問先
西桂町愛育会
会長 鹿糠光子



西桂町愛育会の皆さんと

〔取材 鈴木孝子・滝口新一朗〕

問 会員とその人数は。
鹿糠さん 基本的には西桂町の全世帯の女性が対象であり736名であり、役員は班長以上が42名です。

問 活動内容は。
鹿糠さん 毎月1度定例会を開催し、子育て支援活動や母子保健事業等を実施しています。

皆さん 健康づくりの集いでは骨密度の測定を行いました。

問 何か望むことは。
鹿糠さん 年々会員数が減少し高齢化が進んでいるため、セミナーなどを通して愛育会の必要性を知っていただき、もつと若いお母さん方が中心になって参加されることを望みます。

問 今後の目標は。
鹿糠さん 行政と一緒に、地域の母と子の健康を守り、健康づくり、人づくり、地域づくりを目指して活動している愛育会を、多くの方々に理解して頂き組織の拡大に努めて参ります。



町の母子保健事業の子育てセミナー



町の母子保健事業の子育てセミナーで託児を行っている様子



**次の定例会は12月です。
傍聴してみませんか。**

議会だよりや議会全般、町行政についてのご質問・ご意見・ご感想をお待ちしています。寄せられましたご質問・ご意見等には議会広報編集委員が責任を持ってお答えいたしますので、下記までお寄せください。

〒403-0022 西桂町議会広報編集委員会
TEL 0555-25-2121 FAX 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp



西 桂

フードギャラリー



日赤による救護訓練



子育て創生事業のソバ打ち体験



子育て創生事業の手織体験



保育所夕市



保育所祖父母の会

編集委員長 前田 親保
副委員長 渡辺 隆
委員 鈴木 孝子
委員 佐藤 勝男
委員 滝口 新一郎



さて、議会にも多くの皆様の声をいただき、感謝しております。今後もご意見等をお寄せくださるようお願いいたします。
(渡辺 隆)



目ごとに秋も深まってまいりました。長く景気低迷の状態にあつた日本経済において、月例経済報告では、「東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、持ち直している」として前月の表現を据え置いており、まさに景気の先行きは不透明であると思われます。今後も注視していきたいと思ひます。